

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元気・笑顔・成長」南小

第18号 令和5年12月22日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 173
PTA数 127

子供たちの成長が見られた2学期でした！

■2学期、子供たちの頑張りや成長をたくさん見ることができました。終業式では、1年白石詩遥さん、3年田端暖迦さん、5年白谷稀月さんが素晴らしい発表をしてくれました。

私からは、各学年の様子について、次のような話をしました。

- 1年生：生活科見学では、動物とのふれ合いなどとても楽しかったようです。先日は、来年の干支の辰、竜の飾りづくりを楽しそうにしていました。
- 2年生：生活科見学では、雨の中でしたが、お祭り見学などとても楽しかったようです。国語では、お話作りを頑張っていました。
- 3年生：製茶工場見学やお茶いれの体験をしました。おいしく味わえたようです。先日は姿勢の学習をしていました。普段以上に姿勢がよかったです。
- 4年生：アイマスク体験などとても大切な学習をしていました。真剣にできたようです。授業では、外国語活動で楽しそうにたくさんの友達と英語で会話をしていました。
- 5年生：稲刈り体験、その後はもちつき。もちはとてもおいしかったようです。国語では、漢字の学習で、辞典もたくさん使ってクイズを作っていました。
- 6年生：犬童球溪音楽祭で本当に素晴らしい歌声でした。みんなが一生懸命歌えたようです。授業では、社会の調べ学習も頑張っていました。ノートがとてもきれいです。

■また、冬休みに頑張ってほしいことを3つ話しました。

「健康のことを考えて過ごす」～特に「運動」を頑張ってほしいです。

「人の役に立つ行動をする」～家族の一員としてできることをやってほしいです。

「新年の目標を決める」～2024年をさらに成長できる一年にしましょう。

充実した冬休みになるように、各ご家庭でもよろしくお願ひします。

人権集会～みんなを大切にするために

■12月は人権旬間として、各学級で人権について学習してきました。12月20日（水）には、全校で人権集会を行いました。各学年から、学習したこと、思ったり考えたりしたこと、の発表がありました。一部を紹介します。

- 1年生：「ごめんねと勇気を出して言いたいです」「ふわふわ言葉を使いたいです」
- 2年生：「決めつけはいけないと思いました」「困っている人に大丈夫と声をかけたいです」
- 3年生：「差別はおかしいと思いました」「学級の中の差別をなくしていきたいです」
- 4年生：「あだ名はいけないと思いました」「相手の立場に立って考えるようにしたいです」
- 5年生：「よりそうことが大事だと思いました」「あだ名や悪口を本気でなくしたいです」
- 6年生：「見ぬふりするのはいけないと思います」「気付いていくことが大事だと思いました」

■さらに、企画集会委員会から劇での発表がありました。日常生活の出来事を題材にした話です。「嫌な思いをしている友達の仲間になる、仲間を増やす」という大切な内容を伝えてくれました。

感想交流では、とても多くの手が挙がりました。「無視することは差別だと思います」「見て見ぬふりはしないようにしたいです」「いじめはいけないと思います」「見ている人もよくないと思います」「友達にやさしくしようと思います」などの発表がありました。

■私からは、「わたしからありがとう」という絵本の読み聞かせをしました。「ありがとう」の言葉で、友達とつながることができたという話です。最後に次のように言いました。

「相良南小でも、ありがとうの花がたくさん咲いています。みんなが、みんなを大切に、共に伸びる相良南小の子供であってほしいと思っています。」



暗唱の取組が進んでいます！

↓相良南小学校HP



■2学期から「暗唱」に取り組んできました。「思いを伝える」ためにも、まずは「声を出そう」と始めた取組です。暗唱は、日本語のリズムや言い回しなどを体得する上で、とても重要です。「書く力」をつける上でもとても効果があります。

さて、取組を通して、それ以外にも効果を感じることがあります。

一つ目は「緊張感を味わうこと」です。校長室に入るだけでもいつもと違う緊張感があります。しかも「テスト」です。その緊張感の中で行うことで、力がつきます。

二つ目は「何度も挑戦すること」です。ちょっと失敗すると、再チャレンジになります。一旦、校長室から出て再度練習をして、再テストに臨む子供もいます。何度、挑戦してもいいのです。あきらめないことが大切です。「挑戦する力」が大事なのです。

三つ目は「自信をつけること」です。校長室に入るときは、少々小さい声だった子供も、合格して校長室を出るときは「失礼しました！」と声が大きくなります。練習して、挑戦して、合格することで、子供たちが自信をつけるようになります。「自尊感情」や「自己肯定感」が高まるように感じます。

あちこちで暗唱の声が響く学校にしたいと思っています。

